社会的養護アフターケア事業

助成期間　2022 年 3 月～2023 年 2 月

日本民間公益活動連携機構（JANPIA）＊による「**休眠預金を活用した新型コロナ緊急支援助成金**」を「**ユニバーサル志縁センター（分配団体）**」さまからいただきました。こどもの里に関わる “生きづらさ”を抱える若者やこども、親など社会的な支援が必要な人たちを対象に、コロナ禍で困窮している方々に対してケア活動を実施しました。相談・伴走・訪問支援、食料・コロナ対策支援、スタッフスキルアップ研修、中高生キャンプ、本気で夕食会（女子）、OBOG 会などの活動費用やスタッフ人件費をまかなうことができました。12か月の助成期間で**5, 734, 988円**の助成金を受けました。活動・支援回数は12か月で合計**2843**回でした。また、2023年4月からも同じ助成金を受けることができました。続けて地域に住む社会的な支援を必要する人たちのために活動していきます。

事業実施期間　2022年3月～2023年2月

	平均値（月）	のべ件数
相談・連絡	157	1885
同行・伴走	35	256
訪問	30	245
食糧・コロナ支援	34	403
家族応援会議	2	20
スタッフ研修	1	14
合計		2843

＊一般社団法人　日本民間公益活動連携機構（JANPIA）
JANPIA では休眠預金を活用して、行政が対応することが困難な社会問題の解決を目指して、民間公益活動①こども及び若者の支援②日常生活を営む上で困難を有する者の支援③地域活性化等の支援、を促進することを目指しています。（HP より）

電動自転車で食料を持っていきます。訪問します。

遠くに住む若者には郵送します。実家から送られてくる食材みたいな感じです。

ホームにアフターケア用の棚があり、食材や日用品を置いています。自由に持って帰ってもらってます。特に喜ばれるのが米（5kg）です。